

ちよつとしい話

～ 感謝 ～

阿弥陀様は、現在我々が生活している世界は五濁ごじよくの悪世あくせであると説明されています。五濁とは、人の生涯に起こりうる五つの悩みや災いであります。その意味する所は、誤った思想や見解が招く災いや身心を乱す煩惱ぼんのうが招く自己中心的発想や生命に関わる問題なのです。阿弥陀様は、問題提起と共に私達に悟りへのお導きをしておられます。経きょうに曰いわく、「如来にょらいの光明こうみょうはあまねく十方じゅうぽうの世界を照らして念仏の衆生せつじゆを攝取して捨てたまわず」とあります。要するに、お念仏を称える我々であれば、極楽浄土への道を歩ませて頂けると説法してみえます。難事をお救い頂けるからこそ「ありがたい」と心から感謝できるのです。極楽浄土へとめったに行けるものではないのに、お念仏を申す人々には、手をさしのべて下さる、出来ないことを可能にさせていただけるから「ありがたい」と言えるのです。

タイやインドでは、挨拶あいさつに「ナマステ、ナマステ」と手を合わせ頭を下げます。ナマステとは、南無阿弥陀仏を短くして意味でお互いに尊敬することです。それは、お互いの信頼から実践できるのです。自己にとって相あい対する全ての人、何らかの師であると確信することから始まり、その出会いが一期一会いちごいちえであるかも知れない人生あるから、なおさら敬いを持って接するのです。全てに感謝する気持ちで生活すれば、円まるやかな温かい潤うるおいのある心で毎日が過ごせるようになります。今年は感謝の気持ちを特に大切に歩みましょう。

善入院油掛地藏尊